

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和6年度～令和10年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（ごかせがわ） 五ヶ瀬川森林計画区 （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 宮崎北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、宮崎県の北部に位置する延岡市<small>のべおかし</small>ほか3町に所在する約20.8千haの国有林野が対象である。</p> <p>本計画区の森林の現況は人工林約7.1千ha（人工林率36%）、天然林約12.4千haとなっており、主な樹種は針葉樹ではスギ、ヒノキ、広葉樹ではブナ、ナラ類となっている。</p> <p>本計画区は、宮崎県の北部に位置し、五ヶ瀬川水系の源流部に位置し、祖母<small>そぼかたむき</small>傾国道公園、九州中央山地国道公園のほか、県立自然公園、県指定史跡名勝天然記念物の指定もあり自然環境の保全・形成等に重要な役割を果たしている。</p> <p>また、本計画区は水源かん養保安林が全体の96%に達し、下流域の水瓶、洪水を緩和するといった重要な役割を担っているほか、豊かな森林景観や照葉樹の森など観光資源に恵まれていることから、登山やヒューマングリーンプランによる向坂<small>むこうざかやま</small>山野外スポーツ林などのレクリエーション・保健休養の場として多くの人に利用されている。さらに、豊かな森林資源を利用した木材加工業等は地域の重要な産業となっている。</p> <p>本事業は、森林の有する水源涵養機能、山地災害防止機能、地球温暖化防止や保健文化機能などの公益的機能の持続的な発揮と併せ、木材の安定供給及び地域の活性化にも積極的に貢献するため、植栽等の更新作業や間伐等保育作業の森林整備を積極的に推進するとともに、必要な路網の開設・改良等を実施するものである。</p> <p>事業の実施にあたっては、これまでの評価結果等を踏まえ、効果的かつ効率的な実施に努め、国土の保全、自然環境の保全等に十分配慮しつつ、伐採事業との一体的な伐採造林一貫作業システムの定着、花粉発生源対策の加速化を図るため花粉の少ない苗木の導入、下刈の回数を減らす等の低コスト造林の導入・定着や、UAVやICT、リモートセンシングの活用など新たな林業技術の導入等によるトータルコストの削減に取り組む。また、路網の整備においては森林の公益的機能が高度に発揮されるよう施業方法に応じた計画的な低コストで強靱な林業専用道の開設及び既設林道の機能向上に努める。</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> 森林整備 更新面積 215ha <li style="padding-left: 40px;">保育面積 1,142ha 路網整備 開設延長 5.6km <li style="padding-left: 40px;">改良延長 23.4km ・ 総事業費 3,149,813 千円 (税抜き 2,863,466 千円)
費用便益分析	<p>総便益 (B) 9,982,372 千円</p> <p>総費用 (C) 3,550,857 千円</p> <p>分析結果 (B/C) 2.81</p>
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業の実施は妥当と判断される。</p>
評価結果	<p>事業実施地区において、新規要望箇所チェックリストに定められている必須事項の評価内容を満たすとともに、優先配慮事項の事業の有効性や効率性等が認められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 本事業は、森林の有する公益的機能の持続的な発揮に資することや、事業の実施を通じて生産された木材を安定供給することにより地域の林業・木材産業の振興に寄与していることから、その必要性が認められる。 ・ 効率性： 森林整備では、列状間伐や高性能林業機械による低コストで効率的な作業システムの定着を図ることとしている。 また、路網整備では、林業機械での長距離運搬となっている非効率な箇所の整備を優先することや、森林整備事業箇所へのアクセスを向上させる路網設計を採用することにより、コスト縮減を図ることとしている。 これらについては、費用対効果分析の結果からも事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画等に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分見込まれることから、事業の有効性が認められる。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業+路網整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：宮崎県

施行箇所：五ヶ瀬川森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,129,838	
	流域貯水便益	574,740	
	水質浄化便益	2,214,735	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,599,438	
環境保全便益	炭素固定便益	386,356	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	88,362	
	木材利用増進便益	35,812	
	木材生産確保・増進便益	487,268	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	2,465,823	
総 便 益 (B)		9,982,372	
総 費 用 (C)		3,550,857	
費用便益比	$B \div C = \frac{9,982,372}{3,550,857} = 2.81$		

令和5年度 林野公共事業評価

「令和6年度新規採択事業に係る事前評価実施計画区」位置図

五ヶ瀬川森林計画区 (宮崎北部森林管理署管内)



森林整備

下刈り前の状況(ドローン空撮)

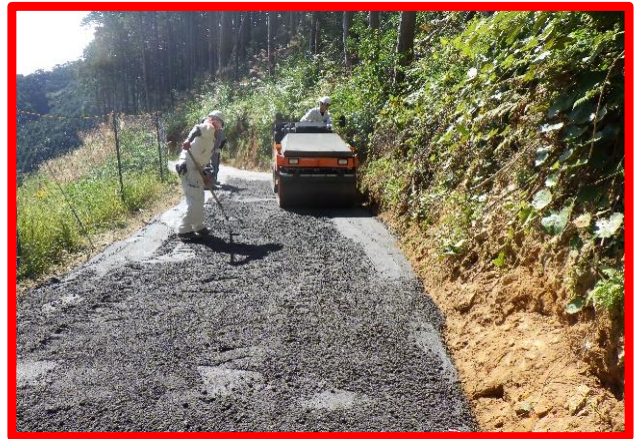


下刈り完了後の状況



路網整備

改良(路盤材敷き込み)



改良(路面舗装)

